

柏崎刈羽原子力発電所

2・3号機

炉心シュラウドのひび部点検

平成20年5月15日

東京電力株式会社

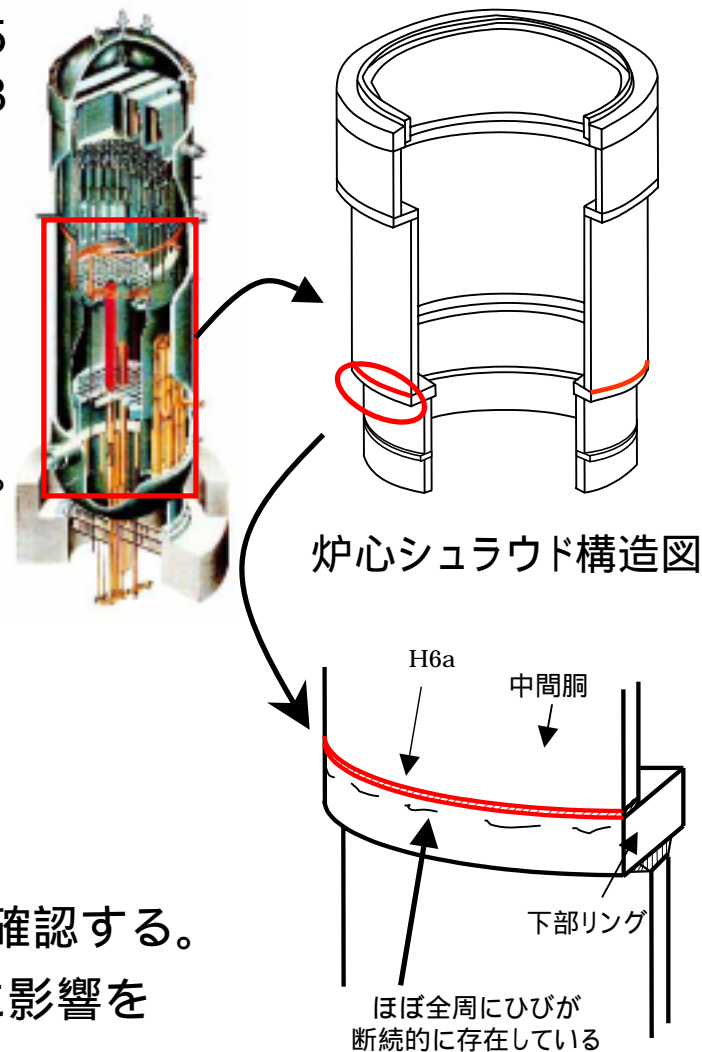
柏崎刈羽原子力発電所



2・3号機炉心シュラウドのひび部点検

経緯

- 2号機点検停止期間中（平成14年9月～平成15年3月）、3号機第7回定期検査時（平成14年8月～平成16年5月）に、中間胴と下部リングとの溶接部（H6a）外側近傍にひびを確認。
- 当該ひび部の構造健全性を確認し、現状では隔回の定期検査毎に点検を行いながら、シュラウドを継続して使用。
- 今回の定期検査において、計画的な検査を実施。



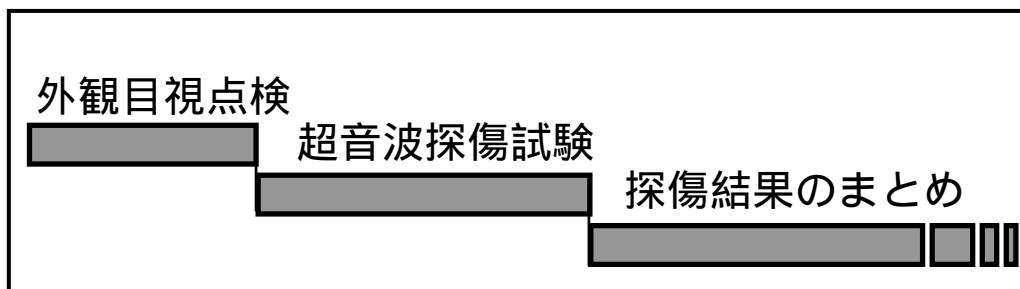
点検方針

- 外観目視点検および超音波探傷試験（UT）によりひび部の点検・深さの測定を行う。
- 点検結果をもとに健全性評価を実施する。
- あわせて、新潟県中越沖地震の影響についても確認する。
- なお、1、2号機炉心シュラウドの「構造強度に影響を与えないひび」についても点検を実施する。

今後のスケジュール（計画）

- 平成20年5月19日から3号機の点検を開始予定。
- 結果についてはとりまとまり次第、号機ごと週報時に公表する。

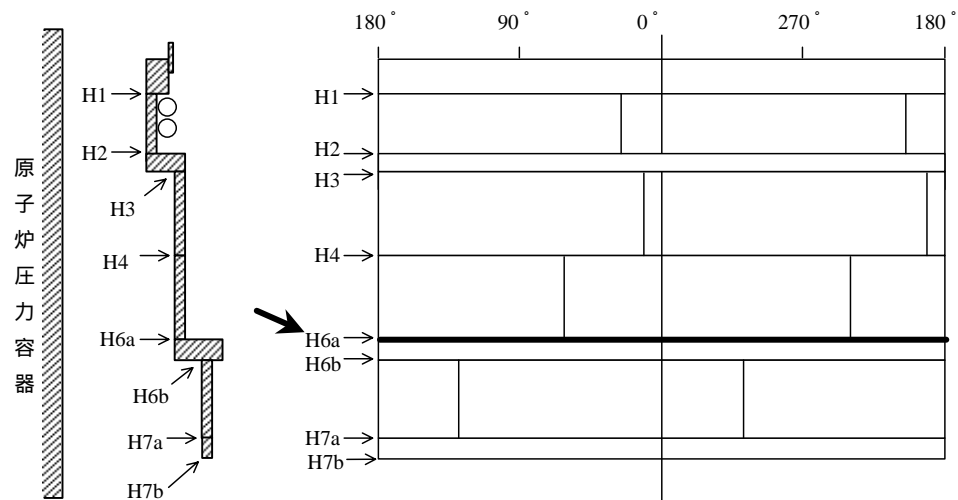
< 炉心シュラウド点検の主な流れ >



	5月	6月	7月	8月
2号機			点検	まとめ
3号機		点検	まとめ	

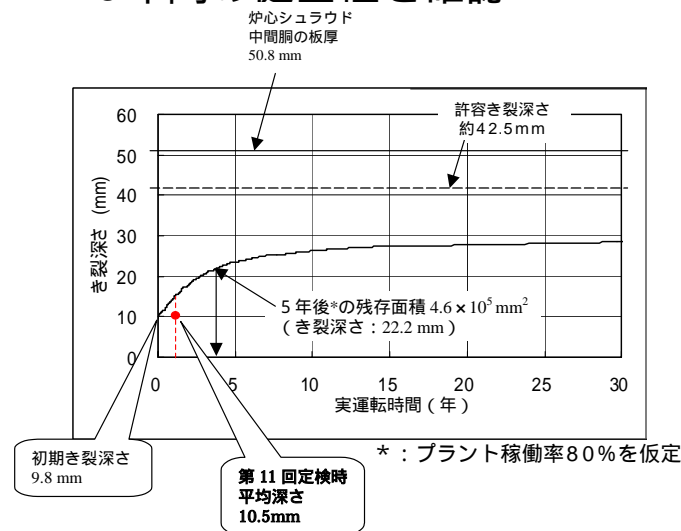
< 参考 > 2・3号機のひび部の状況

■ ひびを確認した部位

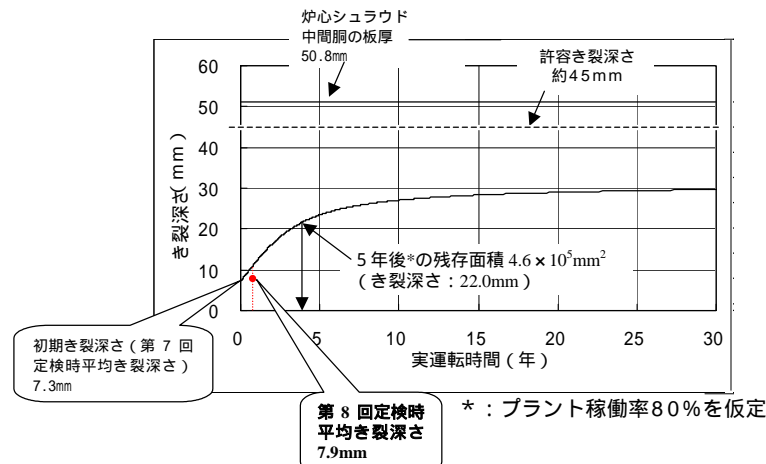


■ 健全性評価結果

・ 5年間の健全性を確認



2号機 き裂進展評価結果



3号機 き裂進展評価結果

	定検回数	平均ひび深さ	最大ひび深さ	板厚*
2号機	点検停止期間中 (H14.9~H15.3)	9.8 mm	15.4 mm	約270 mm
	第11回 (H17.9~H18.5)	10.5 mm	17.1 mm	
3号機	第7回 (H14.8~H16.5)	7.3 mm	11.4 mm	約270 mm
	第8回 (H17.1~H17.6)	7.9 mm	14.3 mm	

*: 下部リング